

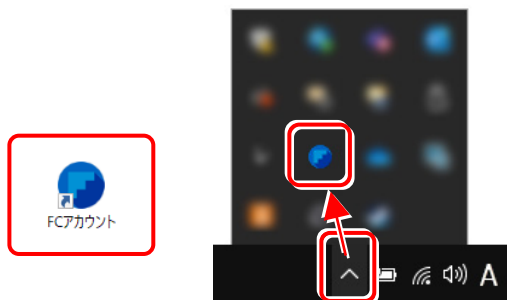


4

EX-TREND 武蔵のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、EX-TREND武蔵を新規インストールする手順を解説します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



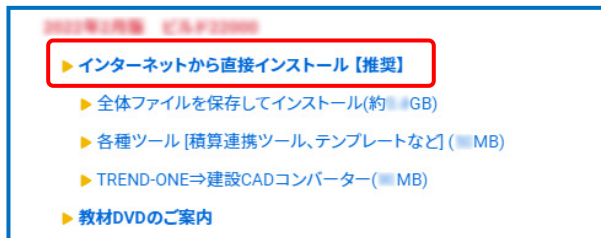
[インストール・バージョンアップ] をクリックします。



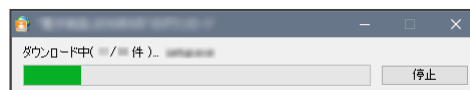
「インストール・バージョンアップ」のページにあるEX-TREND武蔵シリーズの「インストール」ボタンをクリックします。



メニューが表示されますので、「インターネットから直接インストール【推奨】」をクリックします。

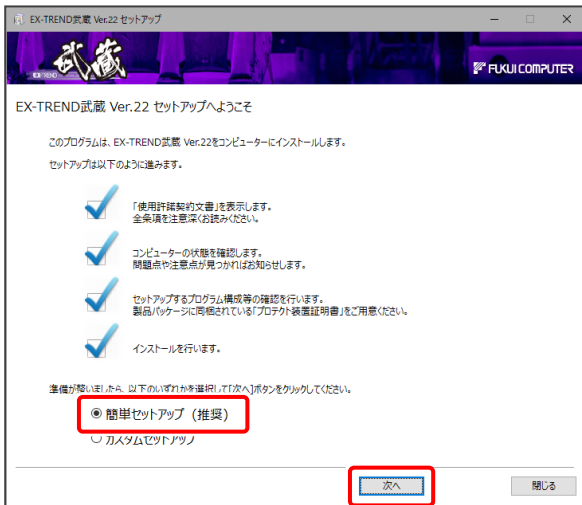


ダウンロードが開始されます。



2. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

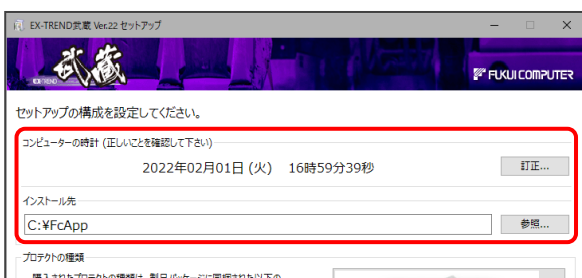
「簡単セットアップ（推奨）」を選択します。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。

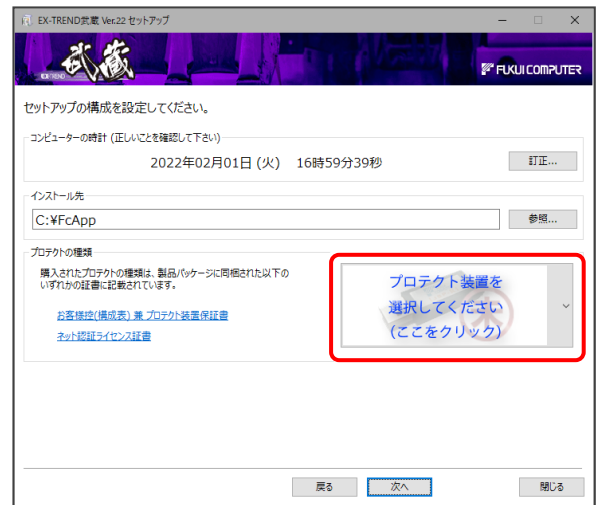


コンピューターの時計と、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更します。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

「プロテクト装置を選択してください」をクリックします。



ここでは「ネット認証（占有）」を選択します。

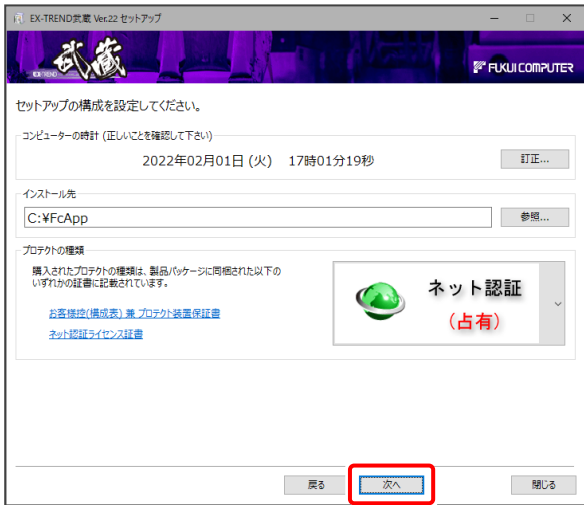


※ご利用のプロテクトによって、選択する「プロテクトの種類」は異なります。

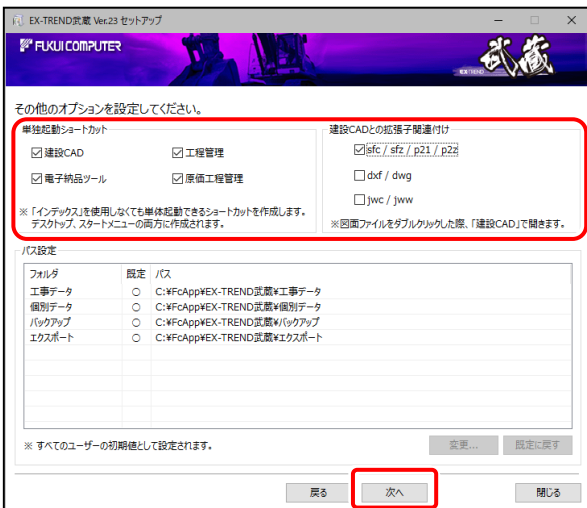
ご利用のプロテクトが分からない場合は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「各プロテクトタイプの確認方法」

(https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/extra/common/mnl/manual/s11_protectkakunin.pdf) をご確認ください。

内容を確認して、[次へ] を押します。



その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。

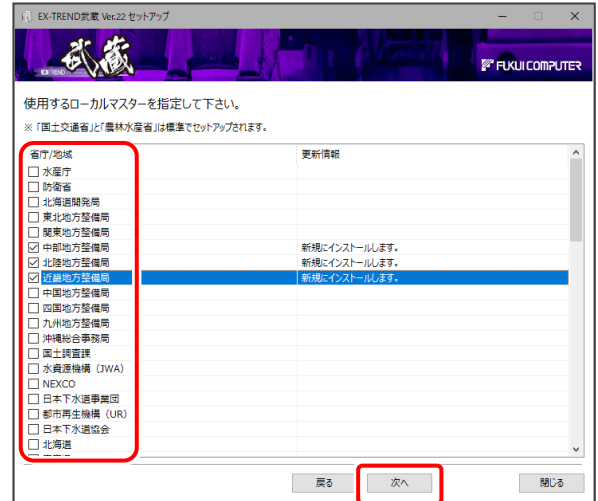


- ※ 「単独起動ショートカット」を作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。
 - ※ 「建設CADとの拡張子関連付け」を「オン」にした図面ファイルは、ダブルクリックすると「建設CAD」で開くようになります。
 - 単独起動ショートカット : すべてのチェックを「オン」
 - 建設CADとの拡張子関連付け : sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

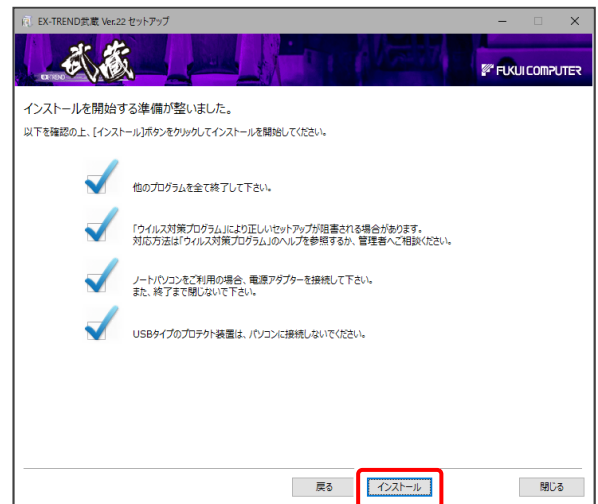
受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



内容を確認して、[インストール] を押します。

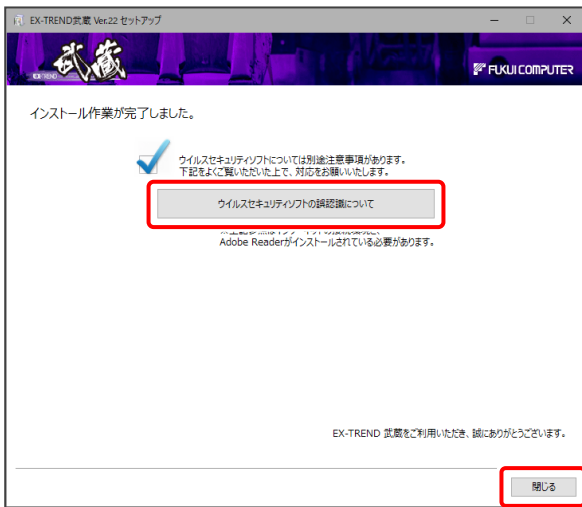
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続く)

インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、EX-TREND 武蔵が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、
[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

「各種ツール」「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」などは、必要に応じてインストールしてください

- ▶ インターネットから直接インストール【推奨】
- ▶ 全体ファイルを保存してインストール(約 10 GB)
- ▶ 各種ツール [積算連携ツール、テンプレートなど] (約 10 MB)
- ▶ TREND-ONE⇒建設CADコンバーター (約 10 MB)
- ▶ 教材DVDのご案内

※ 現在、「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」をお使いのお客様は、必ずダウンロードしてインストールしてください。

旧バージョンのコンバーターは、新バージョンのプログラムでは動作しません。

インストール方法

ダウンロードしたファイルにある" FCSet-up.exe "を実行してください。

以上で、「EX-TREND 武蔵のインストール」は完了です。